

ぐるぐる学園 プロフィール

企画展「渦文-時を超える文様-」 イメージキャラクターの秘密

文: 笠井 崇吉(専門学芸員)

縄文時代から近代までの 福島県内の遺跡から出土し た渦巻文を集めた企画展「渦 文一時を超える文様一」。

この企画展のイメージ キャラクターである「ぐる ぐる学園」のメンバーにつ

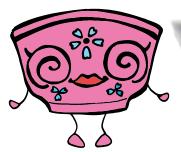
いて、モデルとなった**~**

展示資料とともに紹介します。





大口あけた、いものくんは、跡見塚古墳(須賀川市:福島県立博物館蔵)出土の鍔がモデルです。鉄地に銀の渦巻象嵌がみごとです。



おはなちゃん

紅一点のおはなちゃん。 大森遺跡(相馬市)出 土の磁器小碗です。

呉須で描かれた草花文が華麗です。



老け顔のおやっじ。モデルは、鶴沼B遺跡(会津若松市)出土の土師器杯です。 墨で渦巻が描かれています。



縄文時代晩期の注口土器がモデルのたらこ くん。雲形文が渦巻状にからみます。

表紙の一枚

8月の体験活動室メニューのオリジナルエコバッグづくり。特に、8月10日(土)~18日(日) の夏休み特別体験期間中は多くの方々がエコバッグづくりを体験していました。それぞれ思い思い の場所にスタンプを押してデザインをつくります。完成したバッグを見て、子どもたちは笑顔で嬉しそうに持ち歩いていたのが印象的です。

今年の7月、大阪府の「百舌鳥・古市古墳群」が世界文化遺産に登録されました。これで日本の世界遺産は、文化遺産19件、自然遺産4件の計23件となりました。

さらに、日本国内では、「佐渡金山」(新潟県)、「彦根城」(滋賀県)、「北海道・北東北の縄文遺跡群」(北海道・青森県・岩手県・秋田県)など、文化庁の暫定リストに掲載され、世界遺産登録を目指しているものが、まだいくつかあります。

ところで、我が福島県にも、国内外に誇れる文化財や遺跡はありますが、いつかは世界遺産になれる文化財や遺跡はあるんでしょうか? そもそも、身近な文化財が世界遺産になるとは、どういった手続きが必要なんでしょうか?

文化庁などによると、世界文化遺産登録までの流れ は、概ね以下の通りとされています。

- ①各国の暫定リストへの掲載。
- ②各国政府からユネスコ世界遺産センターへ推薦。
- ③専門の調査機関による調査(約1年半)。
- ④世界遺産委員会での最終審議。
- ⑤正式登録(例年6~7月)。

世界遺産への道のり

~福島県にも、 いつかは世界遺産が!?<mark>~</mark>

文:大山 孝正(専門学芸員)



福島の古墳も、世界遺産になれるかな? (写真はイメージです)

つまり、まずは文化庁が作成する暫定リストに掲載されることが、世界遺産への第一関門です。そのために、全国の都道府県や市町村では、地域の重要な文化財や遺跡がこの暫定リストに掲載されることを目指して、様々な努力を続けています。

もちろん、暫定リストへの掲載といっても、決して簡単なことではありません。何よりユネスコ世界遺産センターが世界遺産登録のための専門調査を依頼する ICOMOS (国際記念物遺跡会議)の審査基準に合致しなければ、国内の暫定リストに掲載されません。

そこで地域の文化財などの世界遺産登録を目指している全国の自治体では、その文化財としての顕著な普遍的価値を明らかにするために、未確認部分の再調査をしたり、学術的評価を高めるためのシンポジウムを開催するなど、可能な限りの努力をしています。ただ、何よりも地元自治体や住民の熱意、理解が深まらなければ、国際的な評価もなかなか得られないのが現実です。

福島県内の文化財や遺跡も、今後の調査で新たな発見があったり、評価が変わるかもしれません。 世界遺産を目指すかはどうかさておき、国際的評価を少しでも高められるように、自治体と住民が一 緒になって、地域の文化財の保護への機運をさらに高めていきたいものです。

かわいしもの大特集♥
2019秋号

た電がとってもかわいい♥ 雀は群れてた電がとってもかわいい♥ 雀は群れているぷっくりした雀がとってもかわいい♥ 雀は群れていたそうです。そして、笹の葉を囲っていたそうです。この硫の見込み』とまた、陶器の内側を『見込み』とまた、陶器の内側を『見込み』と呼びますが、これは茶会の席で、茶碗はます。この硫の見込みは、お花になっています♥こんなにかわいいお茶碗で、お茶漬け食べたらおいしいだろうなぁ♥

です。それでは、ごらんください。ただひとつ!『かわいいかどうか、成品をご紹介します。選定基準はが、かわいいものが大好きなわたしかわいいものが大好きなわたし

文:河西 久子(学芸員)

収蔵資料紹介30 塩づくりの 浜通りの遺跡の調査で見つ かった、塩づくりの道具を紹介 します。

文:佐々木 慎一(学芸課主幹)

塩が人の生活には欠かせない ことは、言うまでもないことで すが、みなさんは塩づくりがど のようなものであるか想像した ことがありますか? 現在の日 本では大規模工場で、電気を利 用した方法により塩が生産され ていますが、原始から近世に至 るまでは、いくつもの塩づくり

の方法が考案され、改良を重ねながら発展してきました。まして 商品として流通させるためには、大量生産を目的とする組織的な 塩田経営が不可欠であったようです。

福島県の浜通り北部では、藩政時代に営まれた「入り浜式塩田」 と、それに伴う塩水を煮詰めた釜場の跡が幾つか確認され、その

塩づくりの作業に使われた道具も多 く見つかっています。道具は「採鹹 まぐゎ 木鍬(新地町師山遺跡)

(さいかん)用具」と呼ばれ、当然ながら木製の道具が多く使用さ れています。そのなかでもオールラウンダー的な使い方をされたの が「木鍬」だったのでしょう。木鍬は柄の長さや刃木の部分の大き さで、幾分用途に違いがあるようですが、おおむね、砂を掘り出し たり、まき散らしたりする作業に使用されたものと思われます。

右上の写真の足ヒレのような形のものは、「木鍬」の刃の部分で すが、左下の写真は使い続けているうちに磨り減り、刃の部分が斜 めになってしまったものです。どのくらいの使用でこのように変形 するものなのかは分かりませんが、濃度の高い海水を採るために、 炎天下、長時間黙々と作業をこなしている様子が目に浮かびます。

使い込んだ木鍬(新地町師山遺跡)

まほろん掲示板

9/28 (土) ~ 12/15 (日)

企画展「渦文ー時を超える文様ー」 11/2 (木) 午後1時から

> 移動水族館アクアラバン がやってくる!

(金) まほろん感謝デー 11/3

11/10 (日) 第4回まほろん森の塾

11/23 (土) 第4回文化財講演会

12/14 (土) 第4回館長講演会

12/22 (日) 第5回まほろん森の塾 1/18 (土)・19 (日)・21 (火) ~ 23 (木)

・3/1 (日) 土器づくり上級編

2/1 (土) ~ 3/29 (日)

企画展「ふくしま鉄ものがたり」

2/8 (土) 第5回館長講演会

2/16 (日) まほろん冬まつり

3/7・8 (土・日)

シンポジウム「鉄の道をたどる」

★行事名・日程は変更になる場合があります。

編集後記

をお待ちしています ぐるぐる学園のキャラクターたち まほろんの特別展示室で皆さん

ラクターが何体も登場します。 んはどのキャラクターが良かったで 一のまほろん通信では、

まほろん 通信 vol. 73

開館時間 9:30~17:00 (入館は16:30まで)

休館日 月曜日(月曜日が祝日・休日の場合にはその翌 日ですが、GWとお盆期間中は開館します)/国 民の祝日の翌日(土・日曜日に当たる場合は開 館/年末年始(12月28日~1月4日)

入館料 無料(体験学習の内容によっては、材料費が必 要な場合があります。)





〒 961-0835 福島県白河市白坂一里段 86

2 0248-21-0700

fax 0248-21-1075

ホームページ まほろん 検索